



初詣での人たち

謹賀新年 1996

新しい年を迎え、今年こそは良い年でありたいと思います。諏訪神社は初詣での人で賑わいました。

新春にあたり

自治会長 古谷 金政

香川自治会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は、阪神淡路大震災や、某宗教上の大事件など暗いニュースが多い年でした。これらは、地域の人と人の助け合いの大切さ、一人ひとりの心の問題、そして、人を育てる家庭や社会の在り方などについて考えさせられる一年でもありました。今年こそ明るく希望の多い年にしたいものです。私たちが住む香川地区も徐々に宅地化が進み、たくさんの人々が暮らすようになってまいりました。だれもが安心して暮らすことができる街づくりに皆様と共に努めてまいりたいと存じます。年頭にあたり、皆様の温かいお力添えをお願いいたしますとともに、ご健康とご多幸をお祈りします。



発行所 香川自治会広報委員会
印刷所 (有)スエカネ印刷

1月13日	定例役員会
1月20日	新組長を町内会長又は総務に届ける。
2月4日	新組長会開催
2月中	町内の役員を選出
3月	自治会関係の役員を選出

残された粗大ゴミ “大型有料ゴミ”

衛生委員会

早くもゴミ有料化が始まって三ヶ月が過ぎます。今回も(12月26日)燃せないゴミの収集日には、相変わらず「ダメ」のシールが貼られ各町内の集積場に置きざりにされています。点検した結果が左表の通りです。尚一層ゴミの出し方、分け方に注意し、自分で出した品物が収集されているか確認できる余裕がほしいですね。

【第三町内会】

- 24-4 馬場さん横 ベビーラック
- 31-2・4, 32-1・2, 33-1 鏡台, イス, ベット
- 31-1・3・5, 33-2・3, 34 布団 2, いす, ガスレンジ, コタツ板
- 25-1・2, 26, 27-1・2 電気毛布, 布団 5, 鏡台, ストープ, 扇風機
- 28, 29 ガスレンジ
- 山梨さん鈴木さん横 テレビ
- 松乃寿司前 ストープ
- 及川工務店前 換気器具 3 (工業用)
- 菊地タタミ屋前

【第四町内会】

- ソフィール璋置場 カーペット 2
- 田中文具店北側 イス
- 香川小プール東側 カーペット
- 土田さん側 ピン 5
- 井上さん横 バッテリー
- レオパレス カン 2袋
- 立川さん前 ストープ
- 浜田駐車場北側 布団
- 丸徳資材置場前 トタツ板
- 三橋角蔵さん前 コタツ, ガスレンジ, ピン 2
- 甘沼第二公園西側 ピン 1箱
- 増田塗工宅西側 ガスレンジ

【第一町内会】

- 鈴木和成宅横 コタツ板
- 眞野雅志宅前 ストープ, コタツ敷
- カーペット 2
- 市営住宅 7号棟前 コンビラック, ガスレンジ
- 5号棟前 パネルヒーター, バッテリー
- 2・3号棟前 布団 7, 座いす, 買い物手ぐるま

【第二町内会】

- 鉄塔近く, 亀井さんそば 座いす 2
- 2-4宮代さん トタン板(ダイブラ) 4包
- 鎮野さん横 布団 2
- 国末さん横 布団 3, マットレス
- 南公園大塚さん横 コタツ板, 自動車部品 2
- パナタウン香川そば ストープ, テレビ
- 水道路入口 いす 2, 電気カーペット
- 広木さん前 ピン・カン
- スリーエフのそば カーペット 3
- 永澤興業の横 布団
- 37 鈴木さんそば ガスレンジ, ピン・カン
- 大成ハイイツ内 布団, カーペット
- 香川プロパン店前

民生・児童委員が改選された

12月1日、民生委員・児童委員の一斉改選によって、香川地区では、石川ヨスエさんと斎藤ミエさん、古谷サト子さんが退任され、高橋猛さん、北畑智恵子さん、岡本イネさん、柏倉秀子さんが新任されました。また再任は、柳沢宗一さん、原田實さん、伊東治尊さん、神保すみさん、木村すみ子さん、武井すみ子さんです。湘北地区の民生委員・児童委員として、昭和43年12月から、平成7年11月まで27年間、献身的に活動なされ、多大の功績を残された石川ヨスエさんに、退任の感想を伺いました。

町内で 防災組織を検討

阪神大震災一周年

阪神大震災から一年を迎えた。各町内では防災組織を検討中だが、世論調査でも「地震対策なし」が68%。「防災用品の準備や家具の固定など特にしてない」が45%。大地震に対しては各自が自分の身を守る事を真剣に考えるべきだ。

私の生きている限りは、墓の面倒を見なければならぬ。これが一番たいへんです。良かっただと思うことは？ お葬式の話ばかりになってしまっている。長患いで畳が腐り困っていたので、家から布団やじゅうたんを持ってゆき、お葬式を出したけれど、葬儀屋(市)も感心して自費で霊柩車を出してくれ、立派な葬式ができ、有難かった。また困った人の事情を話したら葬儀屋が四千円でやってくれた時もありました。十二・三年前、近所のアパートに住む42才の男性が、病気のため生活保護の申請をし、何とか生活していましたが、そのうち生活保護が打ち切られるようになり、生活が苦しくなり、とうとうくも膜下出血で急死。警察にお願いしてやっと連絡がとれ、お世話になったと礼をいわれました。この方から今だに年賀状を頂いています。なんでも一生懸命に誠意を持ってやれば、こちらの気持ちも通じ、報いられると思えました。苦労が報われ、分ってもらえた時が、一番嬉しいことです。

◆一番大事なことは？
相手のお話を聞いてあげることが大事です。相談をうけて問題が解決した時は嬉しい。民生委員は行政の橋渡し、家族の協力がなければなりません。

◆最後に御感想をひとこと。
いろいろ不幸な人を見るたびに自分は健康故、幸せだと思えます。子供のない方は致し方ございませんが、最後に面倒をみてくれるのは、子供ですから。若い人は結婚して子供を一人は産んでもらいたい。私の考えが間違っていましたらごめんなさい。

◆長い間、有難うございました。(伊東)

配食協力員を募集

現在茅ヶ崎市では、週二回(火・金曜日)、配食サービスを実施しております。一人暮らしや、身体の不自由な方を対象として、ご希望の方に配食をしております。来年度からは、利用者のご希望もあり、他市のように配食回数が増加しておりますので、協力員の方が不足しております。

現在行われている火曜・金曜のどちらか一方でも、ご協力をいただけましたら有難いと存じます。御申し出は、左記の民生委員の方にお願致します。

投稿される方へ

- ▼原稿用紙に縦書き。一行15字。
- ▼句読点(、)をつけて下さい。
- ▼ワープロ原稿は行間をあけて下さい。
- ▼ご意見は30字以内。
- ▼随筆などは60字以内。
- ▼匿名、他紙との二重投稿はお断りします。趣旨を変えずに文を直したり、削る場合があります。原稿はお返ししません。
- ▼町内会名、組、氏名を明記して下さい。

第一町内会

ふるさとのお正月

横山 恵子

昔、青森県は、津軽地方（日本海側）と南部地（太平洋側）に分かれていた。今はその名残りとして郡部では、東、西、南、北、と中津軽の五地域に分かれています。私は南津軽郡の出身です。

津軽平野では、主にりんごと、お米が生産されています。手間のかかる作物です。そのせいでしょるか、父の口癖は「働かざる者、食うべからず」でした。子供達にも、農作業の手伝いをさせていた。お陰さまで、大家族の絆は深まったように思います。

お正月の頃は、雪に閉ざされ、

この山から石材が切出されていたとか、研磨用の材料とか、ガネット（宝石の一種）を出していたとか聞いたことがあったが、白っぽいザラザラした山肌の間感じから、そうかもしれない。なと納得したりもした。さらに少し歩くと峠である。ここからは峠の字のとおり下り一方の道になり、奈良盆地まで続く。峠の頂上から右にハイキングコースが枝分れして葛城山に向っており意欲をそそられるが、今日の計画にはないので真つすぐに峠をおろる。ただ歩くだけで面白くはなかった。村の入口に来ると、すぐ古道に入った。だが腹が減ったのか疲れただのか、何となくつまらなくなっ

「近つ飛鳥」と「遠つ飛鳥」

歴史的な土地

“あすか”のこと

寺田 達也

な当麻寺のほか、当麻蹴速の土地でもある。彼は野見宿弥と力比べをして負けてしまったが、これが日本の相撲の始りとされ、駅から当麻寺への途中の碑に残されている。

かい探訪記は二の次となりました。飛鳥（私達のいっている飛鳥）についても、いつか御報告しなくてはと思っています。

「隣近所のキズナを強めて」効果的な防災対策

平手 篤子

去る九月、防災についてのアンケートを募りました。回収は641枚中371枚、57.9%。（未回収は42%で、どのような考えでいられるのかは分りません）。調査の結果90%の方が「関心あり」でした。なお100%回収の組は五組ありました。

阪神大震災では、隣近所の連携が被害の拡大をくい止める大きな力となりました。が、本調査では、「隣近所の安否を確認する」が79%で、21%が「余りあてに出来ない」といふ事です。いざという時に備え、日頃からの「話し合い」が必要とされている人は77%。今後の目標ともなる「隣近所、意識を持ってもらう」為に、町内会としては、「如何に効果的に話し合いの場を設けて行くか」テーマ。何時・場所・リーダー等具体的な方法を提案して行きます。今年度は計画段階とし、実際には平成八年度からとなります。

地震発生→三分間→三時間→三日間と場面を想定し、その時どのようにしたら良いのか（生きられるか）。日頃自治会に係われない関心が無い等、会員の声を耳にしますが、未回収の42%の方も含め皆さんが参加しやすい内容で進めて行きます。命に係わる事です。私達の出来る一歩から、隣近所を気づかう関係が広がるように。がんばって第一町内会 つくろうキズナ!!

昭和一桁の思い出

亀井 精一

戦後五十年と七回目の成年が重なり、激動の人生を生きてきた感慨に咽ぶ。孫の勉強と遊びをみるにつけ私とは雲泥の差だ。

昔を振り返って昭和九年小学校六年生の頃を思い出してみよう。私の隣組は八軒、三世同居で子供も多く、遊び仲間が一軒三人位いて賑やか。松林小学校校長の阿諏訪仁吉さんの息子の正さんが子供会の会長役。お正月にはカルタやスゴク、福笑いなどをし霜がとけ庭が乾くと表に出て男子はコマ廻し、メンコ、女子は羽根つき、石けりをする。当時は着物を着て三尺を締めて、寒い時は羽織を着る。それでも元気で飛び廻る。凧上げは冬の風物詩だが、この辺では五月の端午の節句前後の風の強い日にあげる。

昭和四年頃から世界的な大不況で生活もごく質素になり、子供などもお菓子などは僅か、もっぱら自家製の芋類の加工品。みかんは阿諏訪さんの井戸の傍にたくさんあっていて、小さくてすっぱいけれど、子供は大喜び。みかんといえば11月20日、恵比須講の日に、小学校の帰り道に関水布団店や古知屋履物店で、家から頼まれた買い物をして、小さいみかんをいっぱい貰えるのが楽しみだった。

詩情豊かな 中国の旅

伊東 信子

上海・蘇州・無錫詩情の旅に参加。上海駅前には25階のビルが林立し、ガーデンブリッジの横の高速度道路には横浜ベイブリッジと同じ橋がかかり、ネオンは輝き、終夜までタクシーの列が続く。10年前とは全く違ひ急速な近代化に驚く。上海から無錫まで列車で1時間50分。太湖の畔を道過。夜来の雨も上り、霧に包まれた湖水を帆船が往来する。楊柳の下で太極拳をする人、湖畔をジョギングする人、撮影に余念のない人、様々だ。太湖畔から錫恵公園へ。広大な

まで道をあけてくれる。それでも下駄の裏に雪がだんだん厚く積もって、ひっくり返る。松林小学校へ通う時、道路の北側の高い畑へ積もる雪が、吹きたまりになって道が分らなくなり、長靴など脱いで、膝上まで埋もれる雪を、キヤーカー騒ぎながら学校に急いで駆けて行く。学校に着いて、着ているものが濡れて冷たかったらうが、今は思い出せない。

クラスの仲間五人のグループを作り、こづかいを出しあって『少年倶楽部』を買ひ、二日位のまわし読みで、自分の番が最後の時は、五月月に一冊、所有物となり、それはもう宝物のようだった。物は不足でも、大人には分らない子供の世界は楽しいもの。戦争に二年五月も征っていたが、御加護もあって、思い出を書けることは有難い。



寒山寺の鐘樓

ず落胆していたら、翌日特別の厚意で、蘇州観光の前に再び行ってくれ、希望の字を管長に書いて頂けたのは感激だった。有名な「楓橋夜泊」の拓本も買えて満足。蘇州では拙政園、虎丘、刺繍工場を見学。一年がかりで一枚の刺繍をしあげる繊細な技術に感心する。蘇州駅から上海駅まで列車で一時間。玉仏寺・南京路、豫園商場など上海市内を見学。日本人と変らない華やかな服装の人たちが街にあふれ、ホテルも欧米なみで、とてもきれいだ。詩情も旅情も豊かな楽しい旅だった。

ゴミ処理場、見学に参加して

志 澤 馨

正月ははじめからゴミの話では少
少気がひけるが、昨年の11月初め
に、自治会主催の茅ヶ崎市のゴミ
処理施設の見学会に参加した。

最初の資源ゴミ選別処理場は、
何回もこの前を通って、ここ
がそのような施設だったとは気が
つかなかった。ビンとカンが地上
の受入れホッパから供給コンベア
でゆっくりと二階へ上がってゆき、
始めに破られたビニール袋が取り
除かれ、次にスチール缶が回転し
ている磁石に吸い寄せられて、地
上へ落ちてゆく。その次にビンが
選別されるのであるが、混じり合
った液体食品の残滓の異様な臭い
と騒音の中で、数人の女性の人達
がベルトコンベアで運ばれてくる
ビン類を、手作業で黙々と選別し
ている。見ていて何故か感動的な
気持ちになる。最後にアルミ缶が
落ちてゆき、缶類はそれぞれプレ
スされて外に積まれて、再利用へ
と搬出されてゆく。

次が萩園にある清掃事業所で、
新しく完成した5階建ての白いこ
の大きなビルは、11月にオープン
したばかりといい、建物の中は大
変きれいでコンピュータ制御の最
新鋭の設備である。大型の焼却炉
は3基で処理能力は1日360トン、
今のところ1日に出るゴミの量は
約200トンであるから、現在2基が
稼働している。ゴミ収集車1日延
べ150台のゴミが運び込まれてく
るが、ゴミのピットは一千百トン貯
蔵できて、約6日分溜められると
いうがさすがに大きく深い。大型
のクレーンが2基動いており、ピ
ットからゴミを一度に27トン攪ん
で焼却炉に入れるが、クレーンは
夜間は自動に切り替わりフル稼働
している。5階の見学ロビーから
ガラスを通して、それらがよく見
えるようになっており、そのガラ
スで遮断しているから気がつか
ないが、中はゴミ特有の臭気が充満
しているという。2階に降りて中
央制御室を覗いてみたら、沢山の
メーターが付いているパネルを前
に、机の上のコンピュータ画面の
表示を見ている監視の人が2人ほ
どいるだけであった。

最後は清掃事業から出る焼却灰
を捨てている。堤の最終処分場
である。ここへ運び込まれる灰の量
は1日に20〜30トン、1日約200
トンのゴミがほぼ10になる。それ
でも摺り鉢状になっている灰捨て
場はもうかなり灰が積もってきて、
ここもあと3年で満杯になるとい
う。ゴミを焼却する立派な施設は

出来ているが、結果として出てき
た灰は最終処分場に捨てなければ
ならない。出来るだけ出すゴミを
少なくして、あと3年をもっと長
くもたせたい。

ゴミ及びゴミ処理について、切
実な問題であるということは誰も
がある程度は分っているのではあ
ろうが、それが実感としては認識さ
れていないような気がする。こう
いう一連のゴミ処理施設等を実際
に見学してみても、これは大変な問
題だと分ってくる。そういう意味
でこの見学会はよい社会勉強にな
った。

それにしても、こうして施設を
見学してみても、茅ヶ崎市は地方自
治体の中では特にハードの面で、
かなり高いレベルの取り組みをし
ており、印象強く感じた。

もちつきが始まります。

29日は「苦」につながるのでは
花を飾ったりもちつきはしません。
男達のついたもちを母親達は丸も
ちにしていきます。平もちと中
あんを入れたあんもちを何10個も
作ります。子供達はできあがった
ばかりのあんもちをもらって食
べ、そのおいしかった事を思い出
します。

ふるさとの お正月(岩国)

生月 小夜子

私の生まれた所は山口県岩国よ
り山奥に入った町です。昭和30年
代、小学校低学年だった頃のお正
月を思い出します。

暮れからの大掃除、畳を外に出
してたたいたり、障子を張り替え
たり、大人達は大忙しで正月を迎
える準備をしたものです。
それから近所の人達が集まり、

第四町内会

謹賀新年

明けましておめでとうございま
す。今年が皆様にとって良い年で
ありますように。

町内会長 中村五初男
役員一同

12月17日(日) 今年最後の役員
会が開かれました。

町内会として予定される行事・
活動は特にありませんが、1月
は来年度の組長選出の月です。こ
の広報は20日に発行されますが、
丁度その日が届け出の締切日にな
ります。まだの組長さんは至急中
村会長か中静総務までお願いしま
す。2月4日には新組長会が予定

されているので、宜しくお願
いします。

会議の中心は4月から12月まで
の反省が主なものでした。自治会
活動への参加の様子は他の町内会
に劣らない参加がありました。四
町は世帯数も多いので比率とし
てはどうでしょうか? 来年はなお
一層の参加を期待しています。

次の話題は生ゴミと瓶・缶のこ
とです。衛生委員さんのご努力と
皆様の協力で以前よりはだいぶ良
くなっています。しかし出し方を
知らないのか無関心なのか判りま
せんが一部ではまだ問題があるよ
うです。組の皆様にも気を配って
いただいて、一日も早く問題を解
決したいものです。

寒川神社の初詣 今年には体育振
興会主宰が都合により中止になり

どんどん焼き

熊沢茂之

道祖神とは、何の神様でしょう。
これには、いろいろな説がありま
すが、一番知られている事は、
「村の辻にあるから、悪いものが、
村に入らないように、見張ってい
る神様」。悪いものとは、病氣・
不幸・泥棒といったような諸々の
悪いものが、村の中(家庭)に入
らないように守ってくれる神様で
す。香川には、四ヶ所に道祖神が
ありますが、第四町内では、坪田
工務店さんの横にあり、一八六五
年に建立されたものです。

道祖神のお祭りは毎年1月14日
に行います。この祭りの呼び方は
「セエノカミ」「ドンドン焼き」
と言っています。団子を木の枝に
さし、正月のお飾りを持ってみん
な集まって来ます。また当日、参
加できない人は、道祖神の前にお
飾りを置いていきます。私達が子

供の頃は、現在の場所に近い辻で
お飾りを燃しましたが、現在は古
宮守さんの田にトタンを引いて、
その上で燃しています。最近では
学校での書き初めを持ってくる子
供が少なくなりましたが、燃えて
いる紙が火の勢いで高く上がると
字が上手になると言っていて喜ん
だものです。又、この火で焼いた団子
を食べると、一年風邪をひかない
といわれて、必ず家族中で食べます。
道祖神にあがったおさい銭で、菓
子を子供達にくばっていますが、
年々参加する子供が増えています。
いちばん身近な、民俗行事である
「ドンドン焼き」は、他の祭りと同
様に、最近町内に移って来た人
でも簡単に参加できる行事です。お
正月のお飾りを、「ゴミ」として
出してしまおう方もいるそうです
が、1月14日、「ドンドン焼き」で
燃して、一年の無事を祈って下さ
い。

1参考資料「茅ヶ崎の道祖神」

ましたが、毎年行なってきた行事
です。第四町内会有志の形で行
なうことになりました。諏訪神社
の初詣の皆様呼び掛けて総勢三
十名ほどが集まりました。私達が
着いた頃は、参拝客のピークで拝
殿前では入場制限されるほど盛況
でした。参集殿で升酒で祝杯をあ
げ、来年は地区としての復活を要
望したいということになりました。
去年の1月の神戸淡路の大震災
から各地で防災組織の見直しが行
われています。四町でも昨秋町内
の自主防災組織が発足しました。
しかしまだ組織の骨格が形作られ
ただけです。今年には肉付けをして
内容を充実させる年です。大災害
の時には行政組織の援助を多量期
待するのは無理だということは昨
年証明されました。まず組内の和
と協力体制が必要です。そして町
内会の防災組織は各組のまとめと
町内会として可能な援助、自治会
本部及び市の防災組織との連絡が
主となるのではないのでしょうか。
皆様の理解と協力で町内の防災組
織を育てていきましょう。

投書

Y・Kさんへ

前号の投書について一言。あな
たの動物愛護の精神、ノラ猫にた
いする愛情は判ります。しかし生
ゴミをノラ猫の餌にということは
賛成できません。あなたは収集者
の方や掃除する方への理解協力を
求めています。それは間違いです。
本間にノラ猫のことを考えるのな
ら、あなた自身で猫に餌をやるこ
とです。

捨てる人間はもちろん悪いので
すが、ノラ犬やノラ猫に被害を受
けている人も多います。犬や猫
がきらいな人もいます。あなたは
その人達のことを考えているのでし
ょうか?
(M・H)

神の御坂

足柄峠

相模の万葉③

土橋 梢

足柄の御坂畏み 雲夜の
吾が下延へを 言出つるかも
(三三七一)

(歌意) 足柄の坂の神が恐ろしいので、ひそかに自分の心の中に包みかくしていた恋人の名前を、つい言葉に出してしまった。



足柄明神

神が人々の日常生活に身近であったころ、神に対する恐れは、いっそう強いものであつたろう。めったに人と出会うことのないこの足柄峠では、難所である上り下りの苦しさに、今よりもっと強く神への恐れを感じとつたであろう。どうか無事にこの坂を通してもらいたいという思いが、自分の大切なものを神に捧げるといふ行為につながっているのである。この恐れゆえに、大切に秘めていた恋人の名をも手向けとしてつい口に出してしまうという、なんとも素朴で、

短歌

富田千代枝

絹の道の末なる大和つれづれに
飲むコーヒーカーップの葡萄唐草
幸せという紙風船を追い求め三
千世界を人はさまよう

箆の外より目白の首を貫とせし
百舌の一刀百舌の勝鬨
將軍たりし祖父の勲章を曾孫の
息子はたづさえて海外に住む
わが骨は湘南の海へと言い遣す
久に帰国す息子と秋の浜

団らんに崩壊もごも想わせて
マンションの鉄骨組立ちゆけり
拾いたる鍵にて鬱の扉あけ舞い
立たんかなセブテンパーソング
リラ冷えに白きリラ散る南海の
水漬屍の彼にリラ散る
つまみ細工の白粉壺よりかげろ
うは化粧に浮身やつして飛立つ
石仏の御手に刻まる大桃のうづ
うづとして夏熱れにける

純粋な心のあらわれている歌である。

相模から駿河に至る古道の官道は、今の南足柄市関本から標高七五九メートルの足柄峠を越え竹の下へくだって御殿場市付近に達するもので、峠の頂上が国境であり、

立つふもとのほどだに、空のけしき、はかばかしくも見えず。えもいはず茂りわたりて、いとおそろしげなり」とも藤原孝標のむすめは「更級日記」に書いているが、「万葉集」から二百年もあとの平安中期の物語だが、それでもなお足柄峠はこんな苦しい道だったことがわかる。

峠に登りつめる直前の古道の脇に足柄明神の石祠がある。神の御坂とも畏れられていた坂の神が祠られていた所で、秘めていた恋人の名前をも口に出して手向けとし、許しを得て通してもらったところである。

きしむ戸を引くや一氣に霜の朝
朝雨戸を開けると、思ってもいなかかった真白な霜に覆れた景が眼前にとび込んでくる。一氣にと捉えたところに驚きが見られる。
一湾に漁船ただよふ初明り
冬木立ぬけて真直ぐ美術館
冬木立の向こうに美術館のある風景はいかにも寒々としているが、見えているのが美術館であることから、なにか暖かな味がした。
買初や小町通りに修行僧

藤村 球子

俳句 茅花会

平塚司郎選

緑といふか些事をよせつけけない
景をなしていて動かない。
鱒酒やふたとるまでの一談義
田辺美津枝

初稽古まじりの言葉いただきぬ
長島 久江

自然教室

川の流化

菱科 光 顕

発達し、水道が飛躍的に普及してから川は下水道の代わりとして便利な存在となつていきます。近ごろは有害な科学物質による水の汚染が、ようやくと社会問題になり、下水道の完備と汚水処理場の建設が叫ばれはじめました。
そんな訳で今日の自然観察は、川となつたのであります。はじめに調査用紙が渡されて調査の方法

が説明されました。調査項目は川の周囲の様子、土手や流れの様子、川原の動植物の様子など6項目で、採点は0から3までの4段階での採点です。
水神橋は新幹線の通る所から1キロばかり上流で、周囲は田畑も有り田園的な様子が残っている所です。水も思ひのほかきれいで釣りをしてる人も二、三人います。

計報

(平成8年1月12日現在)

- 高橋 数枝様 63才 11月17日 第一町内会 1組
- 木村金太郎様 80才 12月1日 第四町内会 18-1組
- 国谷 保様 75才 12月16日 第四町内会 23組
- 平井 ツ子様 86才 12月17日 第一町内会 14組
- 山脇啓次郎様 77才 1月4日 第四町内会 49組
- 蓑田 ノブ様 79才 1月11日 第二町内会 9組
- 井上 一夫様 81才 1月12日 第四町内会 12組
- 埋金 一郎様 91才 12月11日 元自治会長、町内会長など自治会役員として活躍されました。